

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)

コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西岡 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐々木 悟

TEL 03-5332-5374

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	1,670	13.5	117	53.1	116	56.0	103	149.6
25年12月期第3四半期	1,471	△24.0	76	△35.0	74	△14.4	41	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 103百万円 (149.1%) 25年12月期第3四半期 41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	10.34	10.10
25年12月期第3四半期	4.27	—

(注) 当社は、平成26年3月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年12月期第3四半期	1,913		1,618		82.6
25年12月期	1,725		1,485		85.6

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,580百万円 25年12月期 1,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	△3.6	217	95.5	217	97.1	191	△26.3	19.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成26年3月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	10,011,300 株	25年12月期	10,011,300 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	200 株	25年12月期	200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	10,011,100 株	25年12月期3Q	9,716,228 株

(注) 当社は、平成26年3月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府経済対策の効果を背景に、雇用・所得環境の改善等、一部に弱さも見られるが緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、企業収益改善の鈍化、海外景気の下振れや消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動等があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、平成26年9月累計の供給戸数が前年同期比26.8%減（民間調査機関調べ）となり、当第3四半期連結累計期間において厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,670百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益117百万円（同53.1%増）、経常利益116百万円（同56.0%増）、四半期純利益103百万円（同149.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移したものの、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力したことなどにより、順調に推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の業績は、売上高811百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益201百万円（同79.1%増）となりました。

②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、営業体制の強化に伴う経費増があり、更なる顧客満足度の向上及び堅実な収益獲得を図りましたが、予想通りの利益を得られませんでした。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高723百万円（同1.6%増）、営業利益54百万円（同18.9%減）となりました。

③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、所有土地やマンションの売却はあったものの、継続的に販売可能な物件の仕入れに苦戦するとともに、販売用不動産の売却は後ズレする等厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高134百万円（同32.1%増）、営業損失11百万円（前年同四半期は営業利益1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ188百万円増加いたしました。これは主に販売用不動産が211百万円、仕掛販売用不動産が60百万円増加したことなどによる一方、現金及び預金が122百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は1,913百万円となり、前連結会計年度末に比べ187百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は262百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が7百万円、その他が46百万円増加したことなどによる一方、未払金が15百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は31百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主にその他が11百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総負債は294百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,618百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益103百万円及び新株予約権が29百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は82.6%（前連結会計年度末は85.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、ビル総合管理事業において、営業体制の強化に伴う経費増があり、売上においても新規取引先の獲得に苦戦し、想定を下回ることが予想されます。ハウスクエア事業におきましては、売上は若干予想を下回るものの、顧客単価の向上をすることができ、利益は想定通りになる見込みです。また、管理部門において、経費の削減を引き続き行いますが、連結業績予想は下記とおり修正いたしました。

平成26年12月期通期連結業績予想数値の修正 (平成26年1月1日～平成26年12月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予定 (A)	2,930	246	240	210	21.05
今回修正予想 (B)	2,800	217	217	191	19.13
増減額 (B - A)	△130	△29	△23	△19	—
増減率 (%)	△4.4	△11.8	△9.6	△9.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年12月期)	2,904	111	110	259	26.53

(注) 当社は、平成26年3月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	477,009	354,526
受取手形及び売掛金	203,943	221,527
商品及び製品	431	323
販売用不動産	69,773	281,372
仕掛販売用不動産	—	60,672
原材料及び貯蔵品	2,356	2,398
仕掛品	1,066	37
前渡金	179,191	209,842
短期貸付金	474,484	474,364
未収入金	131,468	145,828
その他	14,293	9,620
貸倒引当金	△54,433	△72,244
流動資産合計	1,499,584	1,688,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	88,866	88,866
減価償却累計額及び減損損失累計額	△75,435	△75,899
建物及び構築物(純額)	13,430	12,967
機械装置及び運搬具	1,696	1,538
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,696	△939
機械装置及び運搬具(純額)	0	599
工具、器具及び備品	17,495	18,305
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,435	△16,836
工具、器具及び備品(純額)	1,059	1,469
土地	3,248	3,248
リース資産	13,622	15,078
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,547	△7,550
リース資産(純額)	7,075	7,527
有形固定資産合計	24,813	25,811
無形固定資産		
のれん	23,310	15,241
その他	403	403
無形固定資産合計	23,714	15,645
投資その他の資産		
投資有価証券	30,114	30,405
出資金	82,181	82,181
破産更生債権等	620,838	624,457
その他	92,930	98,712
貸倒引当金	△621,001	△624,554
投資損失引当金	△27,713	△27,713
投資その他の資産合計	177,348	183,488
固定資産合計	225,876	224,946
資産合計	1,725,460	1,913,215

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,580	25,423
未払金	140,329	124,668
未払法人税等	24,518	25,055
預り金	7,624	5,573
賞与引当金	—	5,127
売上値引引当金	326	328
アフターコスト引当金	703	673
その他	28,622	75,531
流動負債合計	219,704	262,380
固定負債		
退職給付引当金	5,149	5,371
その他	14,973	26,627
固定負債合計	20,122	31,998
負債合計	239,827	294,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,782,061	1,782,061
資本剰余金	314,414	314,414
利益剰余金	△619,725	△516,250
自己株式	△290	△290
株主資本	1,476,459	1,579,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△152	101
その他の包括利益累計額合計	△152	101
新株予約権	9,326	38,800
純資産合計	1,485,633	1,618,836
負債純資産合計	1,725,460	1,913,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	1,471,354	1,670,472
売上原価	796,515	879,339
売上総利益	674,839	791,132
販売費及び一般管理費	598,106	673,638
営業利益	76,733	117,494
営業外収益		
受取利息	17,758	17,764
受取配当金	23	24
その他	4,471	3,062
営業外収益合計	22,253	20,851
営業外費用		
支払利息	263	252
貸倒引当金繰入額	17,739	17,804
消費税控除対象外	3,474	3,314
その他	2,796	459
営業外費用合計	24,274	21,831
経常利益	74,712	116,515
特別利益		
違約手数料戻入益	—	15,800
特別利益合計	—	15,800
特別損失		
固定資産除却損	578	13
デリバティブ評価損	17,215	—
特別損失合計	17,793	13
税金等調整前四半期純利益	56,918	132,302
法人税、住民税及び事業税	15,853	29,007
法人税等調整額	△394	△180
法人税等合計	15,458	28,827
少数株主損益調整前四半期純利益	41,459	103,474
四半期純利益	41,459	103,474

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	41,459	103,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	254
その他の包括利益合計	183	254
四半期包括利益	41,643	103,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,643	103,728

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスケア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	657,320	711,845	102,189	1,471,354	—	1,471,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	657,320	711,845	102,189	1,471,354	—	1,471,354
セグメント利益	112,407	66,774	1,063	180,245	△103,512	76,733

(注) 1. セグメント利益の調整額△103,512千円には、のれん償却額△8,069千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△95,443千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスケア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	811,951	723,523	134,998	1,670,472	—	1,670,472
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	811,951	723,523	134,998	1,670,472	—	1,670,472
セグメント利益又は損失(△)	201,277	54,129	△11,769	243,637	△126,143	117,494

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△126,143千円には、のれん償却額△8,069千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△118,074千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。